

梅ちぎり～ちからをあわせて！きょうりょくしよう！！～

5歳児

せんせい



～待ちに待った「梅ちぎり」～

6月5日（水）、子どもたちが楽しみにしていた「梅ちぎり」に出かけました。

朝の外遊び前の約束の時間でも、「すべり台は順番ですべりましょう」などのお約束に加えて、「梅ちぎりのとき仲良くしようね」と自然に声があがるほど、子どもたちの心は梅ちぎり一色！

午後1時40分にはデマンドバスに乗って、明見寺まで出発。

一人ひとりが手提げ袋いっぱいに梅を摘むことができ、「もっと取りたい！」 まだあるかな？」と意欲的に取り組む姿が見られました。

活動中には、

「梅のへそいつ取るん？」 まだ食べられんとよね」 まだ桃のにおいせんね」

など、子どもたちからのつぶやきに驚かされる場面も。

見た目・におい・手触り...梅に触れることで自然と五感が働き、「知りたい」 もっと触れてみたい」という気持ちがどんどん広がっていきました。

 園での学び・気づき

季節の恵みを自分の手で収穫することで、食への関心が高まりました。

友だちと協力しながら袋をいっぱいにする達成感を味わいました。

子どもたちの中には、梅のことをよく知っている子も多く、日常の中での経験や家庭での会話が食育の土台になっていることを感じました。

 ご家庭でも...

おうちでも梅仕事（梅干しづくりや梅シロップなど）をされる時期かもしれません。ぜひ今回の体験をきっかけに、親子で「梅」のお話をしてみてください。

「へそってどこかな？」 「どんな匂いだった？」 など、子どもたちの記憶をたどることで、楽しかった体験がより深く心に残ることでしょう。



2025年06月05日

とれた！！



2025年06月05日

いっぱいあるね～



2025年06月05日

「ぼく、パピコ食べるよ」と自信満々でした



2025年06月05日

持った感じ約18kgでした。